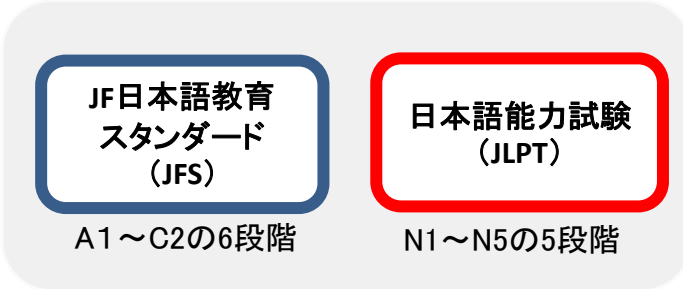


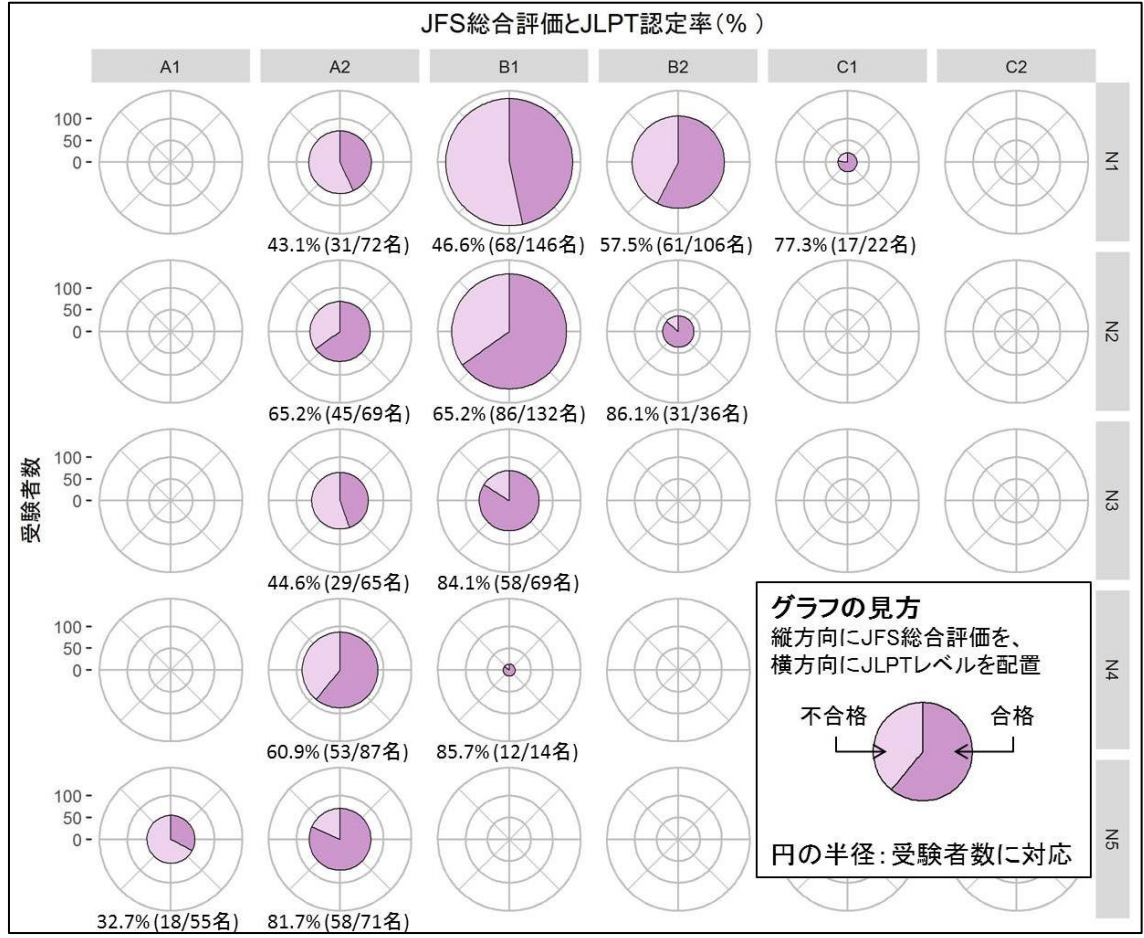
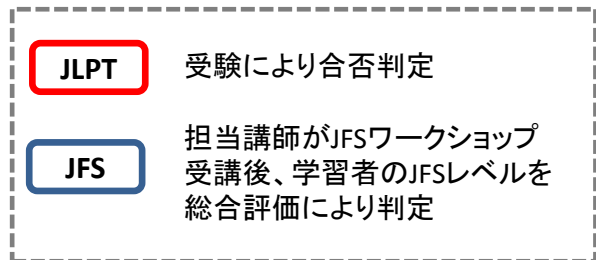
JF日本語教育スタンダードに基づいた評価と 日本語能力試験の合否判定との関係

平成29年4月
国際交流基金



連関を探るための試行調査
(2011年)
＜国際交流基金研修参加者96名対象＞

連関を探るための調査
(2013～2016年)
＜国内外967名の日本語学習者対象＞



- 本調査において、JFS総合評価とJLPT合否判定の間で、ゆるやかな連関が見られた。具体的には、同一のJFS評価であればJLPT受験レベルが低くなるに従って認定率は高くなるのが、比較的多くのセルで観察された。
- 各レベル間において一対一対応は見られなかったが、その理由として、JFSとJLPTでは測定対象が異なるためと考えられる。
- グラフの解釈には、母語や学習環境などの学習者側の特性も吟味の必要がある。また、今回の調査におけるJLPT各レベルの認定率は、全般的に本試験受験者全体のそれを上回る傾向にあるが、調査の性格上、学校等で日本語を学ぶ学習者を対象にしていることが主要因だと思われる。